

2020. 8. 11

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線 植物モニタリング活動

暗くなった夏の林でも、よく見ると



午前中から環境省熱中症予防サイトが「**嚴重警戒**」を告げる中で体調に気をつけながら、この季節のモニタリング活動です。



林のふち（林縁＝りんえん）の明るい場所では夏草が生い茂って遊歩道の柵ロープが見えなくなっているの、最近では草の抜き取りを行いながらの観察活動になっています。

大門ではハグロソウが満開、ヌスビトハギが咲き始めました



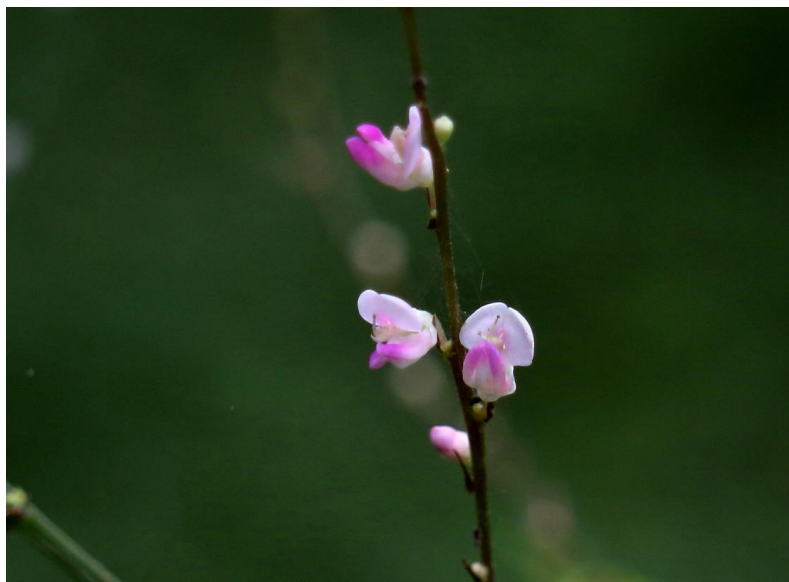
木々の葉で覆われた林の中はかなり暗くなっています。ニリンソウが咲いていた春とは全く違った様相を見せているのですが、そんな中でよく見ると、小さいけれどきれいな花が咲いています。



前号で大門地区の西に広がっていることをレポートした**ハグロソウ**↑は、ニリンソウ自生地の夏の主役です。葉の色が全体的に濃い緑で、黒い紋が入っているの「**葉黒草**」といわれているのですが、注意深く観察すると、確かに他の野草よりも葉色が黒っぽいのがすぐ分かります。花は唇形に2つに分裂して濃いピンクと薄いピンクに咲き分けているのが面白いです。赤塚公園以外では見られない貴重な野草です。



ヌスビトハギは、この10年ほどで大門自生地にも増えてきた野草です。毎年、8月の初めから咲き始めて、実をつけ始める10月まで楽しませてくれます。萩の仲間では花は地味なほうですが、花後の実が、草鞋（わらじ）を履いて抜き足差し足で家に忍び込んでいた昔の泥棒の足跡に似ているから、この名がつけられました。 →



←大門広場でほのかに甘い香いを漂わせるクサギ

大門地区の東端の奥、水が溜まっているくぼ地のあたりを歩いていると、ほのかに甘い香りが漂っています。すでに盛りは終わっているのですが、クサギの花です。臭木と書きますが、そんなに嫌な臭いではありません。ただ、香りが強いので、こう名付けられたのでしょう。白い花びらはもうすぐ落ちて、秋になると花びらを支えていた萼（がく）が反り返って赤くなり、真ん中に瑠璃色の実をつけます。これが花以上に美しい！

あなたもモニタリング(植物観察・記録)活動に参加しませんか

8～9月の予定 8/17、8/30、9/14、9/21、9/28

いずれも9:00、赤塚ため池公園梅林下スタート、雨天中止

お問合せは赤塚公園サービスセンターまで ☎03-3938-5715

